

特別講演会

高橋 昭

名古屋大学名誉教授・愛知医科大学客員教授

衛生の道を拓き 雄大な先駆的視野に立って辣腕をふるった

愛知医学校長 後藤新平

後藤新平は、創立後間もない愛知医学校・愛知病院へ着任、ローレツ、司馬凌海の薫陶を受け、24歳の若さで校長・院長に昇進、名古屋大学医学部への発展の基礎を確立、また衛生学を日本に導入、近代日本医学の先駆者として偉大な貢献を果たしました。



2016年3月15日 火

14:00-15:30

入場無料

予約不要



名古屋大学医学部

基礎研究棟

1階 会議室2

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505

特別講演会

衛生の道を拓き 雄大な先駆的視野に立って辣腕をふるった 愛知医学校長 後藤新平

日時：2016年3月15日(火)14:00-15:30

会場：名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2

高橋 昭(名古屋大学名誉教授・愛知医科大学客員教授)

名古屋市生まれ

名古屋大学医学部 1955年卒業 第一内科助手、愛知医大教授(内科学)を経て
名古屋大学教授(神経内科学)、附属病院長

医学博士。専門(神経内科学、医史学)

日本神経学会名誉会員、日本神経治療学会名誉会員、日本医史学会功労会員

著書：“The history of neurology in Japan”(Handbook of Clinical Neurology, 2010)、『ロバートソン自律神経学』(監修、2015)ほか



近代日本をデザインした先駆者として知られる後藤新平(1857-1929)は、胆澤県(現在の岩手県南部・宮城県北部)大参事安場保和(1835-1899)の学僕時代に才能を発揮、須賀川医学校(福島県)で医学を修め、安場の愛知県令への転任に伴い19歳の時に愛知県病院に着任、医療活動とともに衛生の重要性を主張、24歳で愛知医学校校長・愛知病院長に任命され、岐阜で暴漢に襲われた板垣退助(1837-1919)を往診、これを契機として内務省衛生局に採用、以後政界で辣腕を発揮した。名古屋時代の新平がローレツ(Albrecht von Roretz, 1846-1884)や司馬凌海(1839-1879)から受けた大きな影響、また愛知医学校、衛生学への先見的な貢献について述べる。

ミニ展示会

名古屋のセンパイ

大正・昭和編

一名古屋大学全学同窓会大学支援事業②-

入場無料

2016 2. 10 WED - 5. 31 TUE

平日 9:00-20:00

3月22日-31日は9:00-17:00

土 13:00-17:00

休館日：日・祝日、3月26日

愛知医学校長で後の政治家 後藤新平、司馬遼太郎『胡蝶の夢』の主人公医師で語学の天才 司馬凌海、魯迅『藤野先生』の藤野巖九郎、皮膚科学者・詩人の太田正雄(木下杢太郎)、オリンピック競泳代表 清川正二、日本人唯一のダーウィン・メダル受賞者 木村資生、哲学者 梅原猛、小説家の郁達夫、阿部知二、藤枝静男、小谷剛... 愛知医学校から、旧制第八高等学校、名古屋帝国大学に至る名古屋大学の前身校に在学・在職した大先輩は多士済々です。

ミニ展示会「名古屋のセンパイ! 明治編」は、名古屋大学全学同窓会による大学支援事業の助成金により収集した「名古屋大学の先輩」コレクションを展示公開するものです。

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

問合せ先：名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505